

広島大学関東ネットワーク（以下、会）の活動について

- ・会の活動の目的を「後輩を支援する」「友人を作る」の2点とする。
- ・活動の基本は「草の根的な活動を数多く、継続的に」と考える。10人程度が集まることができれば、成果があったとする。
- ・まずは名簿の充実と新規イベントの試行錯誤を初年度の重点目標にすえる。
- ・会費は当面の間、徴収しない。
- ・会員資格は広島大学東京オフィスが発行するメールマガジン「関東通信」の受信登録をもって完結する。
- ・組織について
活動の責任者グループを「世話人会」とし、世話人代表(1人)、世話人副代表(最大4人)、世話人(最大16人)で構成する。

別に旧同窓会などで代表者、理事を務めていた者のなかから会への助言、支援を行う「顧問」を任命する。顧問は最大10名で、顧問の総称を「顧問団」とする。世話人会と顧問団を総称して「幹事団」とする。

会則改正などの決定権は世話人会メンバーが持つ。全員をボランティアでの参加とする。そのほかに広島大学東京オフィスのスタッフが幹事団に関与する。

- ・会の活動は、
 - 1 幹事団が中心となって会員間の親睦と情報交換
 - 2 世話人などが主催する各種行事への支援、広報
 - 3 広島大学の新規卒業生、関東地区への就職志望者への支援
 - 4 広島大学学長はじめ大学関係者との懇親
 - 5 広島大学東京オフィス 408号室（田町）の利用活性化
(卒業生であり、目的に問題がなければ無料で利用可能とする)
 - 6 名簿の充実と同窓会活動に資する人材の発掘
 - 7 広島大学校友会との連携事業
 - 8 当然のことであるが、日常的に卒業生らとの交流を深めることを期待する

・さらに具体的な新事業計画は現在作成中です。
アイデア段階のものを含め、以下のような活動を計画しております。

A 工学同窓会主催のカープ観戦会（年3回程度、横浜および神宮）は、会としても重要なイベントと位置づける。また、サンフレッチェ戦の観戦会も試行的に実施する。

B 新卒者の歓迎会は（世代が近い）若手中心に企画する。就職志望者への支援は（ビジネスマンとしての経験を生かして）40代以上が積極的に関与する。インカレ出場者の応援などは体育会出身者などが中心になって情報収集と実施を行ない、幹事団全員が協力する。

C 学長との懇談会開催は広島と情報交換を密にしながらスケジュールを調整する。年2回程度の実現を目指す。

D 408号室活性化は各種セミナー、趣味の集まり、カープ戦の中継放送観戦会などの利用を軸に試行錯誤の1年とする。まずは医療相談会（年6回）、囲碁の会、カープ戦中継放送観戦会（月1回程度、カープナイトと命名する）を実施する。どのような内容でも最低4名以上での開催をルールとする。

E 新事業年度となる2017年4月1日前後に発会のイベントを開催する。有名人の招聘も視野に入れる。

F 毎年11月3日を関東ネットワークの創立記念日として会合を開く。

G 同窓会の名簿（会の場合は「関東通信」の配信登録）の充実にはさまざまな手段を講じる。